

我が社における自主保安活動シリーズ

(第2回)

高圧ガス保安全国大会で会長表彰を受賞された組織（優良製造所及び優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞を契機に高圧ガス災害の撲滅など保安確保の維持向上に努めている活動等を執筆していただきました。

2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始しました。第2回目は、優良製造所として、上毛天然瓦斯工業㈱代表取締役 平石 誠様に、優良販売業者として、紀伊国屋高圧㈱ 社長 若林比呂之様に自社の保安に対する考え方及び今後の抱負についてご紹介いただきました。高圧ガスの製造所及び販売事業所で保安に関わる方々には自社の保安管理活動への参考になるものと期待しています。

我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- 第1回 我が社の保安安全活動（優良製造所編） ㈱サイサンガステクノ 横山義巳 Vol.56 No.1
- 第1回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） ㈱サンワ 田部井普 Vol.56 No.1

我が社における保安管理活動(優良製造所編)

上毛天然瓦斯工業株式会社 代表取締役社長

平石 誠

1 会社創立の経緯

群馬県碓氷郡原市町および磯部町（ともに現：安中市）付近一帯は、地層の形成上各所に、ガスまたは石油の露頭が見受けられたので、古くから石油地帯として石油界の注目の的となっていた。

1904年頃、宝田石油株式会社が、この地方で数本の石油井の試掘をなし、また1939年から1941年にわたり日本石油株式会社が数本の石油井を掘削したところ、少量の石油と多量のガスを確認したが、産油量が僅少なことと戦争のため、この地域の徹底的探究を中止することになった。

しかし、多量に噴出したガスは、ほとんど炭酸ガスであることを確認し、このガスの利用については戦時中も研究されたが結論を得ず終戦となった。

終戦後の進駐米軍、特に医療部隊にドライ

アイスの需要があるにもかかわらず、供給量が少ない状況にあったので、この地域の鉱業権者の帝国石油株式会社は、原市町において天然ガスを採取、液化炭酸ガス及びドライアイスの製造を目的として、1947年5月22日に上毛天然瓦斯工業株式会社を創立した。

2 会社の歩み

1947年5月に東京都新宿区東大久保に本社を設立し、6月には群馬県碓氷郡原市町に液化炭酸ガスの製造工場として原市工場を建設した。

1948年6月に掘削作業を開始し、同年10月1号井（ガス井深度452m、噴出ガス量2,200m³/日、炭酸ガス濃度99.5～99.8%）の掘削に成功した。液化炭酸ガスの出荷先は主に清涼飲料水（サイダー・ラムネ）向けで、新潟、群馬、長野、栃木の各県内の清涼飲料



写真 北関東事業所全景

製造工場であった。ドライアイスは、医薬品の輸送・食品の冷却用などとして北関東地域を中心に販売を行った。

昭和30年代早々には、磯部地域を中心にプロパンガスの販売を行い、地域に密着したエネルギー供給の一步を踏みだした。また、炭酸ガスは昭和30年代から40年代は、鋳物・溶接業界がめまぐるしく進歩し、ローリ車による大量輸送時代を迎え、安中市原市をベースとして東京、長岡、仙台に営業拠点を設置した。

伸びていく需要に対し、原市工場で生産される炭酸ガスだけでは、供給対応が厳しくなったため、他の産業のオフガスを利用したガスソースを確保し、炭酸ガス出荷基地を千葉県五井、富山、新潟に求め、飲料用を含め関東甲信越地区を中心に需要先へ安定した供給を確立した。しかし、原市工場で採取していた原料炭酸ガスは、噴出量が徐々に減退したため、1977年12月に10数本のガス井を閉鎖し、原料ガスとしての生産採取を停止した。

その後、炭酸ガス部門は、効率的に配置された供給ソースから需要先へ安定した供給を続けるとともに、きめ細やかな営業活動を通じて信頼をいただく一方で、LPガス部門は、より快適な暮らしを提案し、地域に根付いた営業でお客様から選ばれる店作りを目指し、2012年12月、手狭となった原市の事業所より、さらなる前進とよりよい環境を求めて安中市松井田町八城に新社屋と工場棟を新設移転し、本社および北関東事業所を統合した。

本年で創立より72年を迎えた。

3 過去の受賞履歴

1987年5月

全国エルピーガススタンド協会会長表彰を
北関東事業所にて受賞

1987年7月

東京通商産業局長表彰を北関東事業所にて
受賞

1990年11月

通商産業大臣表彰を北関東事業所にて受賞

1992年6月

全国エルピーガススタンド協会会長表彰を
北関東事業所にて受賞

1996年7月

関東高圧ガス保安団体連合会長表彰を長岡
支店にて受賞

1999年10月

新潟県知事表彰を長岡支店にて受賞

2009年10月

高圧ガス保安協会会長表彰を長岡支店にて
受賞

2010年5月

群馬県エルピーガス協会会長表彰を北関東
事業所にて受賞

2014年7月

関東高圧ガス保安団体連合会長表彰を北関
東事業所にて受賞

2015年10月

高圧ガス保安協会会長表彰を北関東事業所
にて受賞

4 保安に対する考え方

高圧ガスの保安は、「高圧ガス取締法」から「高圧ガス保安法」に変わり、保安に対する考え方は、事業者の自己責任が原則となった。当社ではISOの推進も相まり、各種規定・マニュアル等の見直しを積極的に行っている。

製造および販売するガスや設備機器の特

性、取扱方法等は、メーカーやJIMGAの協力を得ながら、日常的な知識および技術を習得し、保安の向上を目指している。

また、社外の講習会や勉強会に積極的に参加させる他、資格取得を推進し、社員の保安意識の向上を図っている。

社内教育では、特に事故事例を活用し、事故防止に努めている。

5 今後の抱負

「保安は企業活動の全てに優先する」を基本理念とし、事故を未然に防ぎ、発生させないことを第一の目標として、社会に貢献する会社を目指していく。

平石 誠（ひらいし まこと）



©MPC